

アトリエペペ雑文記(2011年7月号)

雨ばかりの梅雨の気候になってきましたねえ、そして湿度もいっぱい雨が降っていないと温度も上がって来て、ああやっぱり7月に入ると夏になっていくんだねえと、そんなことを実感できるこの頃ですね。アトリエペペも冷蔵庫にはチューベットが登場し暑い日はクーラーとつけようねと。



岐阜県多治見市の山の中に、ペペたちの展覧会仲間の陶芸作家にいみさんの陶芸スタジオがあって、5月の半ばから3回ほど通って陶芸制作に行ってきました。さてペペは何を創ったのか？メイキング・オブ・ペペ作品を紹介しますね。まずは土粘土を麺棒で伸ばしていった平らな「たたら」を創り、缶に段ボールをカットしたものを巻いておいて芯にして粘土で円筒形を創るんですね。

そして、さらに造形を進めていくわけで、一番右の写真は、後ろ姿の造形途中の状態ですね。



そして、ペペ作品の造形仕事、これにて完成。

さて、いったいこれはなあに？という答は、絵を描く時に使う筆立てなんです。今まで「あとひき豆」を食べ終わった缶を、そのまま使っていたのを、その缶の大きさを利用して、筆立てにしたんですね。

あと人間みたいなのがくっついてるって？はい、これにおいては後述するね。



と、間隔を置いてから次の作品創りに行った時は、ああ、もうすぐ台風2号が来るからね！と、まさにそんな大雨の中。

雑文記に、いきなり登場しているミスタータナカの画像から。初対面からこの風貌において感激しまくっていて、ああっ！目の前にアルプスの少女ハイジの「低燃費って何？」っう、そのラインで出てくる「ゴールデンエッグス」の、登場人物の教頭先生にそっくりではないかね！と。感激のツボにはまってしまったんですね。彼は、毎年のようにパレスチナのガザ地区を訪れているうちに「日本語とアラビア語辞典」を創ってしまい、自衛隊がイラクとかに派遣された時とか、みなさんミスタータナカの辞書を持っていったんだよという楽しい略歴の持ち主であるし。一番右の写真は、ペペ作品2個目の創り出しね。



2回目ににいみさんの陶芸スタジオに行ったのは、台風2号がもうすぐ来るかも？という大雨の中。2個目の中、やはり麺棒で土粘土を平らに伸ばしてからのスタート。ミスタータナカと作業テーブルに向き合って創っていたんだね。

ミスタータナカがペペに「いい蕎麦が打てまっか？」聞いたので、「おうよ！なんたって今日の湿り気は最高よ！」ってな返事をば。だって台風の大雨中じゃんね！と、蕎麦打ちにも見える作業だなあって。

そして、やはり何かを造

形して平らな「たたら」状態の板に加えていくんだね。できあがったペペ作品の後ろ姿は、上の写真の左。正面は右である。なんかお皿系にしては不自然な形をしているんだけど、これはなあに？というの「パレット置き」だったんですね。下の写真の左のように、紙パレットを置いて使うものなんです。そして、3回目に陶芸スタジオに行った時は、ふたつのペペ作品は両方とも、きれいに乾燥されていて、造形作家作業は終わったので、さてと、これから絵描きペペに変身して、釉薬とかの色付け作業をしていこうかねえ！と。筆を握る作業になっていくんですね。



さて色付け作業開始！が左の写真。まずは濃くて暗めの釉薬から大胆に塗っていく、そして色付け完成は真ん中の写真。右側は色付け完成した筆立ての後ろ姿。下の写真は、野外に持って行って、それを正面から見たと



ころですね。それにしても不思議な造形物でしょ。この人間のよ様な男女の形。これはね、沖縄の妖怪「キジムナー」だったんですね。「その姿は赤い顔と赤い髪の子供のようで、ガジュマルの古い大木の穴の中に住んでいるらしい。魚を捕るのが好き。採った魚を見かけると何故か左の目を好んで食べるらしい。だが、タコと屁は大嫌い、それを見ると怖がって逃げていくらしい。暗い夜をキジムナー火で照らしてみたり、困った人を助けたりするらしい。キジムナーが寝ている人のところに寄って行って、胸を押さえると金縛りのようになってしまったりもするらしい。」という

うことなんだけど、創っているうちに子供じゃなくて、に～に～&ね～ね～になってしまったって。

【7月のお知らせ】

- 仕事をやるつもりです。29日(金)・30日(土)は、第5週目にてお休みです。
- 夏休みの予定は7月はカレンダー通りです。8月はスケジュール表を創って後日お渡しますね。